

目 次

ごあいさつ（東海村長）

はじめに（東海村地域福祉計画推進会議アドバイザー）

序論「さあ、みんなで地域福祉活動に参加しよう！」	1
1. 「地域福祉」ってなんだろう？	3
2. なぜ「地域福祉」が必要なんだろう？	5
3. フォーマルサービスとインフォーマルサービスの連携	12
4. 東海村で展開されている様々な地域福祉活動	14
5. 地域に生まれたセーフティネットワーク	16
6. 協働による地域福祉の推進に向けて	19
7. 住民の皆さんの地域福祉活動を支援します	22
8. 住民の小地域福祉活動を支援する「地域福祉の専門家」	23
9. さあ、みんなで地域福祉活動に参加しよう！	24
第1部 地域福祉計画の策定	27
第1章 地域福祉計画とは	29
1. 計画策定の背景と目的	29
2. これまでの計画の概要と本計画との関連	30
3. 計画の策定手法	31
4. 計画の期間	31
5. 計画の位置づけ	32
第2章 東海村の地域福祉の現状	34
1. 人口等の推移と予測	34
2. 地域で起こっている課題	36
3. 住民の地域福祉活動の状況と課題	38
4. 地域福祉を取り巻く国の動向	39
第3章 計画の実施状況と見直し	43
1. 第2次計画の実施状況と課題	43
2. 第3次計画の特徴	52

第2部 基本構想	53
第1章 計画の基本理念	55
第2章 基本目標	56
第3章 施策の体系	59
第4章 通常業務体系	60
第5章 第3次計画の進行管理及び評価方法	62
第3部 施策の推進	65
基本目標1	67
基本目標2	69
基本目標3	71
基本目標4	73
共通施策	75
資料編	79
資料1 人口動態に関する統計	81
資料2 子どもに関する統計	88
資料3 高齢者に関する統計	91
資料4 障がい者に関する統計	93
資料5 地域活動に関する統計	94
資料6 地域で困っている人に関する統計	103
資料7 社会資源に関する統計	107
資料8 東海村で展開されている様々な地域福祉活動	108
付属資料	118
・東海村地域福祉計画推進会議設置要綱	118
・東海村地域福祉計画推進会議委員名簿	120
おわりに（東海村地域福祉計画推進会議委員からのメッセージ）	121
参考文献等	123

「第3次東海村地域福祉計画の策定にあたって」



東海村長 山田 修

この計画を手にとっていただいた方々へ

「あなた」は今、どのような思いでこの計画を手にとっていますか？地域福祉についてある程度ご存知で、村の新しい計画について知りたいという思いからでしょうか？それともまだ何も知らないけれど、少し興味があって読んでみようと思われたのでしょうか？

どのような状況でも、「あなた」と、この紙面でお会いできることを大変嬉しく思います。

地域福祉計画とは、子どもからお年寄りまで、あらゆる人々の幸せのため、地域の中で住民の皆さん同士が、助け合い、支え合う心を育み、その関係を形づくっていくための方法を示したものです。東海村では平成16年に第1次計画が、平成23年に第2次計画が生まれましたが、今回の第3次計画は、その集大成であり、かつ、これからの東海村の地域福祉の可能性を示したものとも言えます。

東海村では現在、たくさんの方々が、地域で支援を必要としている人々のため、活動しています。例えば、民生委員・児童委員の方々、自治会や地区社会福祉協議会で活動しているの方々、ボランティア団体やNPO法人を立ち上げているの方々など、その他にも様々な方面で活動を行っている方々がたくさんいます。こういった方々にお会いするたび、私はこんなにも他人を思いやり、自分たちの住む地域をよくしていこうと考え、実際に行動している方々がいることに感銘を受けます。

このような温かい心が村全体に広がり、これまで以上にたくさんの方々が地域で活躍するようになれば、東海村はますます素晴らしい村となっていくのではないのでしょうか。

地域福祉の主役は「住民の皆さん」です。そして、そのために、行政は何ができるのか、それを今回の計画では中心に考え、施策の組み立てを行いました。これらの施策の目指すところは、副題にもあるとおり「お互いさま」の心づくり、地域の輪（和）づくりにほかなりません。

地域福祉を推進するための取組みは、すぐに成果が現れるようなものではなく、少しずつ人々の中に広がり、じっくり醸成されていくものです。東海村の地域福祉は、これまでの12年間で、ゆっくりですが確実に前進しました。この歩みを止めることなく、今後も、住民の皆さんと一緒に、より良い地域をつくっていきたいと思います。

そのためにも、この計画の中では新しいことにチャレンジしてだけでなく、成果にこだわり、結果も出していきます。

しかし、行政だけの努力では限界があります。地域福祉の推進には、住民の皆さん一人ひとりの力が必要であり、そのためにも、身近な「地域」に目を向け、行動のための第一歩を踏み出していただきたいのです。

この計画を手にとってくださった「あなた」にとって、この計画が地域福祉活動を始める「きっかけ」になることを願って止みません。

結びに、この計画策定にあたりアドバイザーとしてご指導くださいました淑徳大学の稲垣美加子先生、ご尽力をいただきました「地域福祉計画推進会議」の皆さんに心より感謝を申し上げます。

平成28年3月

はじめに

「地域福祉計画作成にあたり」 — 変わりゆく時代と変わらぬ東海村に想いを寄せて —



東海村地域福祉計画推進会議アドバイザー

淑徳大学 教授 稲垣 美加子

ここ数年日本各所で不安定な天候と、様々な自然災害に翻弄されるかのような日々が続いています。かつての高度経済成長といわれた頃には、こうした自然の力に私たちの知恵が勝利したようにも見える時代がありました。しかし、1994年の阪神・淡路大震災以降、繰り返される自然災害の前に、私たちは故郷を失ったり、住み慣れた家を失ったり、かけがえのない家族を失ったり、抗しえぬ自然の力の前に打ちひしがれる体験を重ねています。

また、昨年実施された国勢調査の結果、我が国の総人口が減少に転じたことが確認されました。そして、単に数が減少しただけでなく、その年齢別の構造、世帯構成の変化が、一人ひとりの暮らし方が孤立化する傾向を強め、従来の公私の世代間扶養の期待や制度の維持が困難になってきていることを示唆しているようにも思われます。

21世紀になって、我が国では高齢者や中年男性の孤立死（孤独死）を契機に、従来の“在宅福祉”という支援方法が限界を迎え、“誰一人見逃さない”“法の狭間をつくらない”：ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）が目指され、“地域福祉”に比重が置かれるようになりました。それ以前は、人口の高齢化を契機に、高齢者介護を中心に“在宅福祉”が志向されていました。しかし、結果として個々に社会福祉の支援ニーズを抱える人や家族を支える、あるいはニーズが発生してから支援を開始する“在宅福祉”には限界性があり、結果として“孤立死”を防ぐことができませんでした。そこで、地域住民を“利用者”としてだけとらえるのではなく、地域の“支え手”と想定し、かつ、ニーズの発生や拡大・深刻

化を予防しうる“地域福祉”へと舵をきったと思われま

東海村はここ10年、この“地域福祉”を実体化すべく住民・民間団体（社会福祉協議会）・行政が一体となり、そしてさらには役割分担をしつつ東海村らしい“地域福祉”を模索してきました。変わる時代のニーズの中で、変わらない東海村の伝統と文化と地域を愛する住民マインドを活かして、どのような“地域福祉”を展望していくのか、行政としての覚悟と姿勢、そしてその過程が本計画に示されています。

「計画」は単なる案ではありません。行政が住民の皆様に実行を約束する契約書です。地域福祉は、住民、社会福祉協議会、そして行政の三位一体の協働によって成り立つものですが、東海村の地域福祉は、実体的なその歩みを始めてまだ12年。本計画の手法や実現可能性とも過程の段階にある部分もあります。しかし、巻末にもあるように各団体・地域を代表する住民の皆さんの参加を得て、少しずつ“住民主体”に近づきつつあります。それと同時に、多くの住民の方々の関心が高まり評価も厳しくなっているようにも思われます。

東海村の未来において、災害時にも平時にも“誰一人見逃すことなく”互いに支え合うことのできる地域をめざして、熱くも厳しい、つまりは現実的な意見交換を重ねて地域福祉の充実なることを期待しております。

こうした過程に参加をさせていただき、学ばせていただいたことに感謝を寄せて。

平成28年3月

**東海村公式キャラクター イモゾーファミリー
が、第3次東海村地域福祉計画を紹介します！**



いもジイ

本名 村野 芋治 (むらの いもじ)
ひと言 ほくほくイモが、転ばぬ先の杖を持って、明るく元気に生きていく！のんびりほっこりいきましょう！



干しバア

本名 村野 星 (むらの ほし)
経歴 元アイダホフォールズ観光大使。PRのために来日した際、いもジイと出会い結婚！いもジイと共にイモ人生を歩む(かつては村のマドンナと呼ばれる！)。



いもサク

本名 芋畑 豊作 (いもばたけ ほうさく)
性格 イモへの愛情は人(イモ)一倍で、研究熱心な頼もしいお父さん。トレードマークのハチマキをしめると、気合が入り、イモ作りの才能をさらに発揮します！



いもマミイ

本名 芋畑 里味 (いもばたけ さとみ)
旧姓：村野
好きなこと 食べること、料理、ホームパーティー
野望 得意な料理で東海村をPRする。



イモゾー

本名 芋畑 富蔵 (いもばたけ とみぞう)
性格 明るく行動的な男の子。
尊敬する人 サツマイモを全国に普及させた青木昆陽(あおき・こんよう)氏。



いもジロー

本名 芋畑 二郎 (いもばたけ じろう)
性格 一族集まって以来の天才。
尊敬する人 行動的な兄・イモゾー



かおりん

本名 芋畑 香 (いもばたけ かおり)
お気に入り 東海村の風景
野望 趣味の写真で、東海村の魅力をPRする。